



1月24日～30日は
全国学校給食週間



学校給食の 始まりは？

学校給食は、明治22年(1889年)、山形県の忠愛小学校で、家が貧しい子どもたちへ無償で昼食を出したのが始まりとされています。献立は塩さけ、おにぎり、漬物といわれます。その後、全国各地に広まりました。

学校給食の 役割は？

現在の学校給食は、栄養バランスのとれた食事であり、成長期にある子どもたちの健やかな成長を支え、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。

学校給食の移り変わりを 見てみよう！

<p>明治22年</p> <p>私立忠愛小学校で提供されたと思われる給食</p>	<p>戦後(昭和20～30年代)</p> <p>支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食</p>	<p>現在</p> <p>地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食</p>
---	---	---

「全国学校給食週間」を通じて、いつも何げなく食べている「給食」の意義や役割などをみなさんに知ってもらい、たくさんの方たちのおかげで食べられていることなど、給食について改めて考える機会にしてほしいです。

家族みんなで家庭の仕事をしよう！

家庭の中では、年齢や立場の違う家族が協力して生活しています。家庭の仕事は、買い物、食事づくり、部屋の掃除、ごみ出し、風呂掃除、洗濯などたくさんあります。仕事の仕方を調べたり、家族に教えてもらったりして、自分でできることを増やしながら、家族と協力して取り組みましょう。



お正月の食べもの 言葉パズル

下の絵は、お正月に関する食べものです。絵の名前の文字を消したあと、残った言葉をならびかえて、〇〇に入る名前を書きましょう。

消し方のルール

- タテは上から下へ
- ヨコは左から右へ
- ナナメは どの方向へも

例

お	く	に
し	く	ら
る	ら	こ
こ	た	こ

やってみよう 家庭の仕事ビンゴ

買いもの	調理	食後の後片づけ
洗濯物を干す		洗濯物をたたむ
部屋のそうじ	風呂のそうじ	ごみを分別して捨てる



自分でできる家庭の仕事をやってみましょう。仕事ができたらビンゴの枠に色を塗ります。初めての仕事は、手順を調べたり家族に教えてもらったりして覚えます。できることを増やすために、経験したことの新しい仕事にも挑戦して、縦横ななめをそろえましょう。

ヒント：お正月のあそび

る	か	ず	の	こ
こ	に	く	た	れ
ぞ	ぶ	ろ	か	ん
う	か	ま	ぼ	こ
に	し	め	き	ん

〇 ○ ○